

防犯設計ハンドブック

〈戸建住宅編〉の利用にあたって

本ハンドブックは、戸建住宅の防犯設計のプランニングをする上でお施主様とのヒアリング・防犯チェックを行い、問題点を知り、防犯対策を設計図書に取り込むことを念頭に作成しました。また、設計の方から営業の方にまで幅広くわかりやすく理解していただくために、防犯対策について、立地環境別に提案しています。

防犯対策を設計図書に取り込むにあたっては、設計条件を整理したうえで、基本設計を行い、防犯要素を盛り込んでいくようにしましょう。

防犯設計ハンドブックの内容紹介

第一章 住宅犯罪を考える

戸建住宅に対する犯罪とは
侵入盗の発生状況と手口
侵入盗に狙われやすい住環境

侵入盗の発生状況と手口から、
住宅防犯の必要性を知る

第二章 立地環境別防犯対策のポイント

侵入盗被害想定を読み方
住宅の立地環境別被害想定

住宅の立地環境別被害想定から、
防犯対策プランを提案する

第三章 防犯環境プランニング

防犯環境プランニングの進め方
防犯対策の基本的な考え方
防犯環境プランニングの考え方
防犯環境プランニングのポイント
周辺環境
境界対策
敷地対策
建物対策
リフォームの防犯対策
防犯に対する心がけ

防犯設計を行うために、
先ず現状をチェックする

問題点を知り、防犯対策を
設計に折り込む

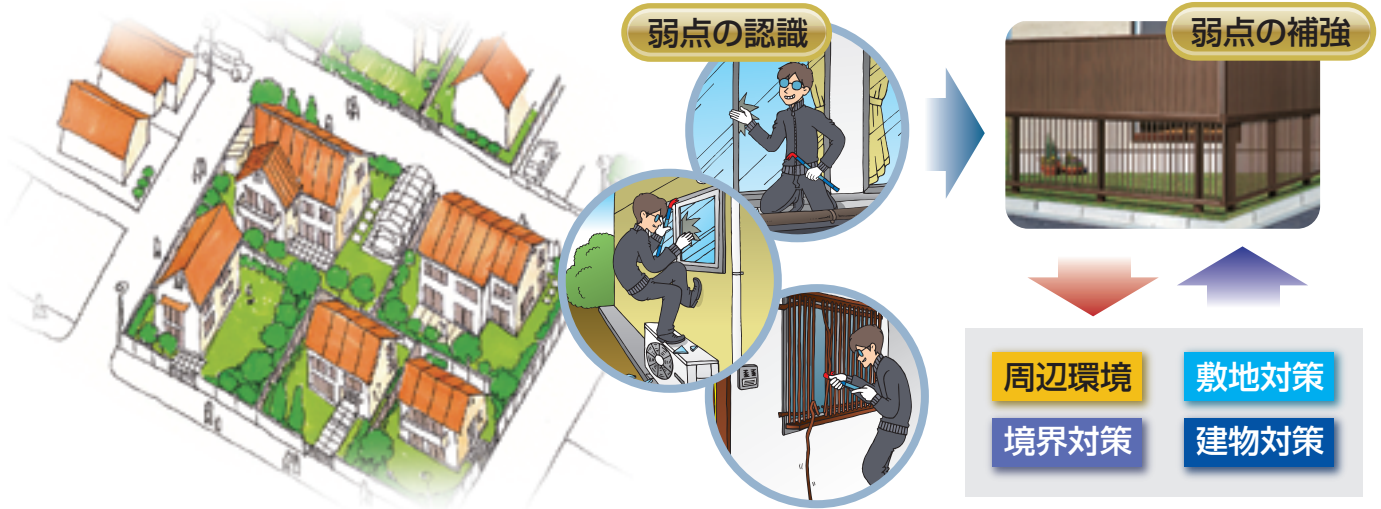
防犯製品（CP製品）の内容を
確認して、採用有無を決める

CP製品の紹介

防犯に役立つ植栽一覧

防犯設計ハンドブック利用の考え方

■周辺環境や建物の防犯チェック



防犯設計ハンドブック活用による戸建住宅の防犯設計の流れ



※建物や街路の環境設計により、犯罪の予防、および犯罪に対する不安を軽減することを防犯環境プランニングといいます。